

今年の流行語を現時点で選べば「そだね〜」になるでしょうね。平昌冬季五輪カーリング女子で銅メダルを獲得した日本代表のLS北見が試合中に笑顔で発していたフレーズだ。チームが繋がり、一丸となる接着剤になって、勝利を導いたようだ。

高齢者の孤立、閉じこもりが懸念される超高齢社会にあって、人が繋がり、励まし合い、助け合って心豊かに過ごすには、「そだね〜」や「いいね!」(フェイスブックで同調する時に使う)エールを送る精神は受け入れ、広げていきたいと思う。頑固じじいにならないように心がけよう!自我も大切だが、広い気持ちで他を受け入れ、共感することが社会参加に繋がり、人生を豊かにする。



「そだね〜」

「いいね!」



会長 長尾 康一

# ICTサロンだより

第57号 発行  
シニアネットはまだ  
代表:長尾康一  
Tel:090-4570-5953  
平成30年5月

「コミュニケーションツール」日本ではガラ系の携帯が長く続いたが、スマホの時代になってきたようだ。

ショートメールやラインは都合のいいときに発信し、都合のいいときに開く。証拠も残るので、確認もできる。

ラインは会話感覚でやり取りできるし、スタンプを使えば、さらに楽しくなる。グループを作れば複数の人とグループ通話ができる。写真も動画だって送れる。



シニアも

スマホふりふり お友達

(振るだけで、入力なしで、相手のアドレスが入る)

さまのご協力あつての賜物、今後とも微力ながら頑張っております。ご支援のほど宜しくお願い致します。



楽しみながら、和気あいあいと・・・

## 長浜パソコン教室 一年目を迎えて

入江 洋子

今回、サロンだよりパソコン教室の紹介をしていただくことになり一言。シニアネットはまだで何年もの間ご教示を受け、微力ながら一応の機種操作は習得を致しましたので、常日頃からお世話になっていいる地域になんとか貢献できないかと思ひ、マリン交流センター「長浜公民館」に趣旨を説明し教室立ち上げのご相談を致しました。

この地区にはパソコン教室がなく是非とも公民館活動として初心者からのパソコン教室をお願いしたいということになり、開設一年を迎えることができました。

お二人(佐藤さん・米井さん)に一方ならぬご協力を頂き楽しみながら、和気あいあいとワード・エクセル・ペイント等の受講に励んでいる教室です。

受講していただく皆さんの熱心さ、上達には目を見張るものがあります。

また一つ新しい出会いが出来たことに喜びを感じ、これも一重に皆

## 地域貢献活動 (長浜公民館にて)



## 繋がる

今年はドコモさんの協力を得てスマホの講習会をしたところ予想以上の方の参加があったので、さらにサポートするために、三回講習会を開くことにしている。

金野和弘顧問に年に一度は講演会をしていただくことと会長と開発部長がお願いに行き、テーマについて話し合った。

「シニアにお薦め、スマホでこんなことが出来る」ということで、スマホを持っていない人にも、これから買おうか迷っている人にも役だつお話をさせていただくことになった。

スマホ教室をわが会も設けるべきかどうか検討もしていきたい。ローソンはスマホアプリを使って自分で決済できるサービスの実証実験を始めた。人手不足の解消のためにも「無人レジ」化を進める。今年の秋ごろから他の地域にも順次展開していく予定。こういう流れは加速していくと思う。

## 講演会のご案内

顧問 県立大学金野和弘准教授

「シニアにお薦め、スマホでこんなことが出来る」

日時:七月二十五日(水)

十三時~十四時三十分



## 新入会員のお知らせ

(3月~4月)

- 加登田 忠昭
- 山根 道子
- 坂根 忠
- 栗栖 真千代
- 森川 美代子 (敬称略)

## お知らせ

### グラウンドゴルフ (活動部)

日時:6月8日(金)  
会場:ひだまりパークみと  
(雨天:さくらドーム)

参加費:2,000円(プレー代・弁当代・保険料)

## スマートフォンを活用しよう

開発部長 三上 聖子



「コンピュータ機能と携帯電話機能が揃っているスマートフォンはインターネットやメールは勿論、アプリの追加で機能充実ができて多彩な小型パソコンである。「スマホ」の愛称で瞬く間にブームとなり2011年には、パソコン出荷台数を超え、2018年には九千万台になるとの予想もあり、今後更に市場が拡大するといわれている。

昨年、会長の発案で受講者がパソコンをどのように役立てているのか「役立ちアンケート」を行った。その中でスマホの保有状況の設問に27名が保有、9名が購入希望との回答であった。そこで「ドコモ浜田店」の協力を得て「スマートフォン研修会」を3回に分けて計画したところ、予想を超えて70名の参加があった。

第一回の「基本的な操作方法」では、スマホ保有者と未保有者に分けたが自分の機種が解らない人や、アンドロイドが大半を占めて部屋に



阿波人形浄瑠璃

活動部の皆さん

また一つ新しい出会いが出来たことに喜びを感じ、これも一重に皆

味合うことができ、日本にいなが  
 原画が持つ本来の美術的価値を  
 同じ大きさに複製したもののよう  
 術によって、オリジナル作品と、  
 大塚オーミ陶業株式会社の特長技  
 で、至宝西洋名画「千余点」を、  
 の美術館が所蔵する、現代絵画ま  
 して、世界二十五ヶ国、百九十余  
 地下三階「地上二階」に、建設さ  
 れた。世界初の陶板名画美術館と  
 念事業として、平成十年三月に小  
 山をくり抜いて傾斜を利用して「  
 に午後三時前到着しました。



**阿波の国徳島鳴門への旅**  
 佐々木 清

久しぶりに「シ  
 ニアネットはまだ  
 」の研修旅行に参  
 加しました。  
 中国道三次經由  
 尾道自動車道、し  
 まなみ街道を経て、  
 四国へ渡り伊予西  
 条「アサヒビール  
 園」で鉄板焼きジ  
 ンギスカン食へ放  
 題で、昼食をすま  
 せ川之江 j i c t か  
 ら、徳島自動車道  
 に入り最初の目的  
 地大塚国際美術館



アサヒビール園

らにして世界の美術館が体験でき  
 るのであります。  
 終戦時十七名の社員であった会  
 社が、紆余曲折があったようです  
 が、大塚グループは現在社員二万  
 三千人の優良大企業に急成長した  
 ように思われます。  
 夕方、海に面したホテルに到着  
 鳴門自動車道と渦潮が一望できる  
 場所でありましたが、渦潮ではな  
 く激流を見ている感じで少々期待  
 ハズレでした。  
 夜の宴会では「阿波おどり」を平  
 均年齢七十五歳約二十名の方が、鳴  
 り物入りで上演され本場のおどり  
 に堪能させられ、最後には我々も  
 おどりに加わらせていただき体験  
 でき、楽しいひとときを過ごすこ  
 とができました。



**魅力満載春徳島の  
 旅に参加して**  
 山本 哲子

この旅行を企画  
 実行して下さった  
 活動部と関係の  
 方々に厚く御礼申  
 上げます。本当  
 に楽しい二日間  
 でした。参加され  
 方々実年齢より十  
 三才は若いとい  
 感した。  
 しまなみ海道か  
 ら四国へ、アサヒ  
 ビール園で昼食、  
 お喋りしながらピ  
 ールとラム肉を堪能、  
 今まで話した事もない方とグ  
 ッと距離感が縮まる。



大塚国際美術館・阿波踊り

それとどうしても来たたくてたま  
 らなかった大塚国際美術館が目の  
 前にある。スタイーナ・ホール  
 の壁画に大感動、今まで陶板画と  
 言うのが理解出来なかったが現物  
 を目の前にして説明を読んで納  
 得、「2000年たっても色あせ  
 ない忠実に再現された名画」とあ  
 る。この絵は本物を見たぞとか、  
 勝手に思いながら感動感激の連続  
 で二時間近くがあつたと言う間に過  
 ぎてしまった。  
 ホテルに到着、渦潮が見られる  
 かと期待したがカラ振りに・・・  
 残念。刺身たっぷりの夕食にお腹  
 一杯、宴たけなわの最中、阿波踊  
 りの登場 お囃子に大勢の踊り手

入りきらない等の混乱をきたした。  
 結局「 아이폰」、「アンドロイ  
 ド」、「らくらくフォン」と未保有者  
 」の3グループで落ち着いた。  
 第二回は65名の参加で「カメラ、  
 写真、メール、インターネット」  
 等を学び、受講者から「今まで操  
 作方法が解らず困っていたがよく  
 理解できた」と好評を得た。そし  
 て 아이폰1名、らくらくフォ  
 ン8名の購入に繋がった。  
 第三回は45名参加、「文字入力と  
 ライン」で種々の機能設定や画像  
 の更新など皆さん生き生きと取組  
 まれた。  
 しかし、3回の研修を通して折  
 角の便利な機能がまだまだ使いこ  
 なせていないことが見えてきた。  
 今回の研修はスマホ保有者にとつ  
 て時宜を得たものであり、今後に  
 向けて有意義な経験となった。続  
 いて更なる活用に向け、六月六日  
 にアプリやラインの追加研修が計  
 画される事になった。  
 また、七月二十五日に、県立大  
 学の金野准教授による「シニアに  
 お勧め、スマホでこんなことが出  
 来る」と題し、講演を予定してい  
 る。スマホは現代の生活を効率化  
 してくれるツールであり、当会の  
 「ICTを活用し豊かな高齢社



スマートフォン講習会



会を目指す」という目標を力強く  
 後押しするものである。  
 最新の便利な道具をうまく使っ  
 て生活を充実させ、心豊かなシニ  
 ア生活を送れたらと思う。



**ネットが老後を劇的に変える**

i pad 教室 藤本 宏征

昨年度の総務省の調査によれば  
 、六十代のインターネット利用者  
 が76%、七十代で54%と高い値を  
 示しています。その背景にはスマ  
 ートフォンやタブレットの普及が  
 少なからず影響しています。利用  
 目的・用途ではメールの送受信に  
 次いでニュース・地図などの情報  
 収集、そしてショッピングなども  
 利用者が多い結果となっています  
 「買い物弱者」(買い物難民)と  
 いう言葉も当たり前のようになり  
 する時代になりました。決して他  
 人事ではありません。運転免許を  
 返納すると、たちまち身近に迫っ  
 てきます。田舎だけでなく都市で  
 も直面している深刻な問題です。  
 そのような状況下で頼りになるの  
 がネットです。近い将来、生鮮食  
 料品を含めほとんどの日用品をネ  
 ットで購入できるようになると予  
 測されています。そういったサイ  
 ビスを利用することで劇的に老後  
 が変わってきます。日頃ネットで  
 買い物をしたことのないシニアに

**タブレット**

とっては、ハードルが高いですが、  
 必要に迫られる前に、行きつけの  
 お店ならぬ、安心して買い物ので  
 きるショッピングを見つけ、ネット  
 の買い物に慣れておくことが大切  
 です。  
 便利だと知っているし、  
 使ってみたいが、通信料が高  
 いので、インターネット  
 への加入を躊躇している人  
 も多いはず。そんなシ  
 ニアにおすすりは、モバイル  
 通信対応のタブレット  
 (i pad は、五万七千二  
 十四円)です。「格安SIM  
 (シム)」と呼ばれる月額  
 九百七十二円でインターネットを  
 利用できるサービスに加入するだ  
 けでネットの世界が広がります。

